

令和6年第4回米産業活性化のための意見交換

2024年12月3日

ウォーターセル株式会社



アグリノート
米市場
KOME-ICHIBA



お米の生産者の「売りたい」



米卸・実需の「買いたい」



玄米の取引マッチングサービス

外部環境の変化

稲作生産者・米卸ともに経営リスクが拡大

稲作生産者を取り巻く環境

- ✓ 圃場集約に伴う経営規模拡大
- ✓ 規模拡大に伴う安定販路確保が必要
- ✓ 農業資材高騰に伴う生産コスト増

米卸を取り巻く環境

- ✓ 既存調達先からの調達数量の減少
- ✓ 販売面の過当競争による収益性低下
- ✓ 調達価格の不透明性

売り手の稲作生産者が抱える課題



稲作生産者

- ✓ 生産しているお米がいくらで売れるか
秋にならないと決まらない...
- ✓ 田んぼが増えて販路を拡大したいけど、
新たな買い手を探すのは難しい...
- ✓ どんなお米が消費者に求められているのか
需要のある銘柄が分からない...

買い手の米卸・実需が抱える課題

- ✓ 稲作生産者が減少し、お米の生産量が減少する中
適時適量を調達できるか不安...
- ✓ 新たな調達先を開拓したいけど
コストがかかるしツテがない...
- ✓ お客さんが求めるお米作りを
生産者さんと一緒に取り組みたい...



米卸・実需

アグリノート米市場の契約体系

様々な契約方法をご用意

事前契約

播種前～収穫前に契約



販売・調達の見通しを立てて
経営の安定化をサポート

現物契約

出来秋の収穫時に契約



スポットに必要な玄米の
取引をサポート

複数年契約

価格・数量を複数年固定で

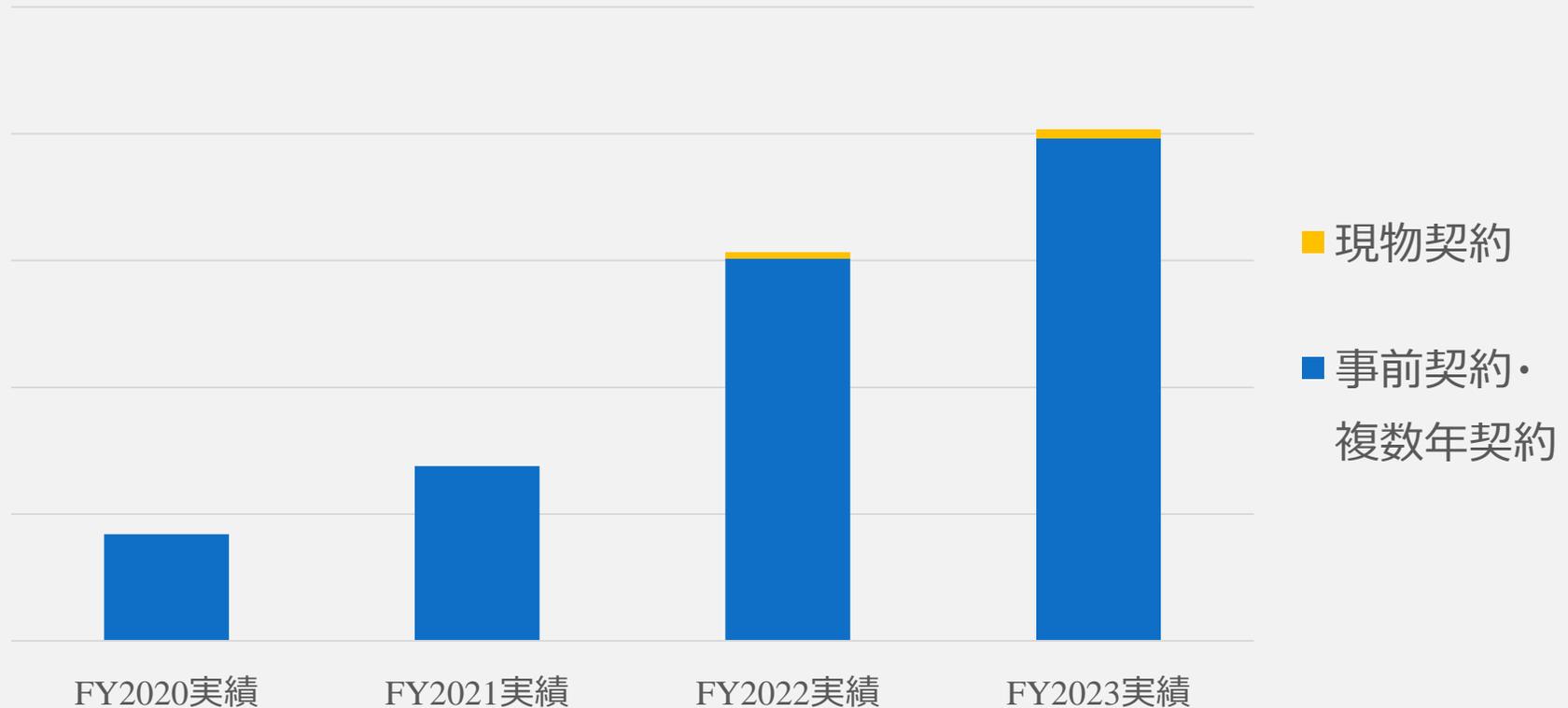


より安定的な
販売・調達を実現

アグリノート米市場の成約実績

- 2020年のサービス開始以降、毎年順調に成約数量が拡大
- 成約全体のうち、事前契約と複数年契約が大宗を占める

アグリノート米市場の成約数量実績



アグリノート米市場の直近3ヶ月の状況とポイント

- ✓ R6年産契約分に関しては、事前契約・複数年契約のほとんどの受渡が完了
- ✓ R7年産の事前契約に関して、買い手の米卸様や実需様からの引き合いが増加傾向にあり、**2024年度は2023年度の2～3倍の成約**を見込む
- ✓ 作付け計画・販売計画を策定するのが早い生産者さんの場合、前年の11～12月頃から動き出すため、**R7年産の計画的な調達を見据えると、2024年11～12月頃からR7年産の買いオファー**を売り手の生産者さんに提示し、事前契約を締結していく必要がある

【ご参考】アグリノート米市場の売り手ご紹介

2024年11月現在、全国2,100組織を超える稲作生産者さまにご登録いただいております、現在もドンドン増加中

	エリア	都道府県	登録組織数
1	北海道	北海道	110
2	東北	青森県	40
3	東北	岩手県	38
4	東北	宮城県	63
5	東北	秋田県	101
6	東北	山形県	112
7	東北	福島県	110
8	関東	茨城県	105
9	関東	栃木県	76
10	関東	群馬県	19
11	関東	埼玉県	55
12	関東	千葉県	120

	エリア	都道府県	登録組織数
13	関東	東京都	18
14	関東	神奈川県	13
15	北陸	新潟県	240
16	北陸	富山県	29
17	北陸	石川県	30
18	北陸	福井県	32
19	中部	山梨県	11
20	中部	長野県	64
21	中部	岐阜県	37
22	中部	静岡県	25
23	中部	愛知県	47
24	中部	三重県	41

	エリア	都道府県	登録組織数
25	関西	滋賀県	48
26	関西	京都府	27
27	関西	大阪府	8
28	関西	兵庫県	70
29	関西	奈良県	11
30	関西	和歌山県	5
31	中国	鳥取県	35
32	中国	島根県	30
33	中国	岡山県	50
34	中国	広島県	36
35	中国	山口県	16
36	四国	徳島県	8

	エリア	都道府県	登録組織数
37	四国	香川県	14
38	四国	愛媛県	20
39	四国	高知県	12
40	九州	福岡県	44
41	九州	佐賀県	15
42	九州	長崎県	9
43	九州	熊本県	30
44	九州	大分県	41
45	九州	宮崎県	26
46	九州	鹿児島県	26
47	九州	沖縄県	4
小計			2,121

【ご参考】アグリノート米市場の買い手ご紹介

業界大手の買い手企業（米卸・実需）を中心に
57社参画いただいております、現在もドンドン増加中

（※以下、アグリノート米市場のHPより一部抜粋、他にも大手米卸さまのご利用あり）



ご清聴ありがとうございました